

THE NINTH NORTHEAST ASIAN CONFERENCE
ON ENVIRONMENTAL COOPERATION

26-28 July, 2000 Ulaanbaatar Mongolia

平成 12 年度環境庁委託

第 9 回 環日本海環境協力会議 報告書

平成 12 年 11 月

社団法人 海外環境協力センター

はじめに

本報告書は、平成12年度に社団法人海外環境協力センターが、環境庁から委託を受けた「環日本海環境協力推進事業」により、平成12年7月26日(水)から28日(金)にモンゴル・ウランバートルにおいて開催された「第9回環日本海環境協力会議」(The 9th Northeast Asian Conference on Environmental Cooperation)に参加し、その結果をまとめたものである。

本会議はモンゴル政府自然環境省の主催により、日本政府による支援の下、中国、韓国、モンゴル、ロシア及び日本の5カ国並びに国連環境計画(UNEP)、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)及び国連開発計画(UNDP)の参加の下に開催された。

会議では、各国・機関による基調演説及び4つの分科会が行われ、①森林保護及び植林、②水質汚濁と浄化、③特別保護区ネットワークの拡大と保護区管理の改善、④北東アジアの環境協力のレビューと将来像がテーマとして取り上げられ、活発な議論が行われた。

各国の参加者は、本会議が情報及び意見交換のための重要なフォーラムであるとの一致した認識の下で、地域内におけるより効率的な協力推進のための触媒機能としての役割への期待が表明された。各国参加者は、本会議の新たな方向及び原則の展開を検討するために、韓国政府から提出された「NEACの枠組み(案)」に基づき、第10回会議での合意に向けての調整作業を継続することとなった。

本会議の性質である、中央及び地方政府、研究機関、NGOといった様々な主体による対話の場としての役割はますます重要性を増し、北東アジア地域における協力促進のために「環日本海環境協力会議」のより一層の貢献が期待されている。

平成12年11月

社団法人海外環境協力センター
理事長 森 仁 美



モンゴル自然環境省次官
Mr. Samdangiin Banzragch



会議風景



記者発表



フェアウェル・パーティ